

「聖心女子大学のグランドデザイン」

聖心女子大学の理念は、一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心(みこころ)に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを広く深く築いていける女性を育成することにある。現代はかつてない激動の時代を迎えており、急速な科学技術の革新とグローバル化による社会構造の変化等により、人間の価値観、生き方、働き方が大きく変貌しつつある一方、様々な地球規模の課題の深刻化により、人間の尊厳と生存は危機に直面している。本学はこのような現代において、よりよい未来の実現に向け社会に新しい希望や可能性をもたらすことのできる女性を世に送り出す。

I. キリスト教精神に基づく教育

キリスト教精神に基づく本学での教育と全体験を通じて、他者に開かれた受容的な姿勢と寛容な心を一人一人が生き方の中心に据え、世界のどのような場所、いかなる立場にあっても、その置かれた地に、愛の灯を掲げることのできる女性を育てる。

1. キリスト教との学問的、精神的な出会いを通じ、他者の尊厳を尊重し、自らの生き方、活躍の場を見出していくことのできる人間となる。
2. 学業を始め、社会連携・社会貢献活動、種々の自主活動等、キリスト教精神に基づく本学での体験を通して、それぞれの人生の場において求められるリーダーシップを発揮し、全ての人々が大切にされる社会を築くことのできる人間となる。

II. 現代教養学部を目指す学び

現代教養学部では、幅広い知識と柔軟な思考力をもって現代社会の課題を洞察し、社会に深く働きかけていく「行動する知性」を備えた、真の教養人を育てる。

1. 真理を誠実に探究し、幅広い学問的知見を基に総合的な判断力を身につけ、自らの考えを自らの言葉で発信し、行動する力を養う。
2. 広い視野を持って社会を理解し、女性として自己のキャリアを見通し、現代社会の中で主体的な市民として生きていく力を身につける。
3. 歴史や古典を始めとする人類の文化遺産を学び、社会状況の変動にあっても揺らぐことのない確固とした価値観、巨視的なものの見方を養う。
4. 現代社会において活躍する上で必須となる高度なコミュニケーション能力、情報活用能力を身につけるとともに、心身の健康への理解を深め、豊かな感性と共感能力を養う。
5. 自分とは異なる多様な他者を理解し尊重できる、差別や偏見を超えたグローバルマインドを身につけ、地球規模の問題を自らの課題として捉え、他者との協働を通じて持続可能な社会の実現に努める姿勢を培う。

III. リベラル・アーツ大学としての優れた教育・研究システム

現代のリベラル・アーツ大学として、教育機能を高度化し、学生の主体的、探究的な学習を促進して、生涯学びつつ自己変革を果たしていく姿勢を育てるとともに、大学教育の基盤である学術研究活動を一層活性化させる。

1. 基礎課程において、入学後一年間をかけて様々な学問分野に触れて自己の関心を深め広げると同時に、大学での学びの姿勢を確かなものとする。
2. 専攻分野において高度な専門性と論理的思考力を培い、新たな知の世界に挑む創造性と批判力を育てるとともに、専攻分野に関わる学びを核として多様な学びの統合を目指す。
3. 副専攻や幅広い関連分野の履修を通して、複眼的なものの見方や多角的な視野を獲得する。

4. 一年次から四年次まで、すべての学年において重視される少人数教育を通して、教員と学生、学生同士の対話型授業を展開し、知的対話の中から学習意欲と探究姿勢を身につける。
5. リベラル・アーツの多様な学びを現実社会における実践や体験と融合させ、さらに学びを深めるといふ、循環型の学習を主体的に展開する。
6. 大学院において、女性に高度な学術研究への道を開き、すぐれた人格と精深な学識を備えた研究者、専門的職業人、社会の牽引者を育て、新たな知を創出する。
7. 中長期的な展望のもとに学術基盤を整備し、建学の精神に立脚した独自性の高い研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元する。

IV. 大学運営の継続的な刷新

大学の理念を実現するために、今後の社会の変化やニーズを見通しながら、次世代を育成する高等教育機関としての役割、女子大学としての役割、また本学独自の役割を確認し、具体化する。中期的には下記の側面を中心に体制を整備して教育研究活動を活性化し、確かな財政基盤の上に事務組織、教職協働、FD・SD等、大学運営の諸側面を継続的に刷新して本学の教育研究機能を高めていく。

1. 教育理念を実質化するための内部質保証体制の確立
2. 次世代社会を見据えた教育の再構築と教育研究力の向上
3. 本学の社会的責任の明確化とその実現
4. アドミッション・ポリシーに適合した学生の安定的確保
5. 教育研究を活性化するための環境・支援体制の充実
6. 学生の成長を見守り、支援する体制の充実
7. 大学運営のための人的・物的・資金的基盤の整備

以上